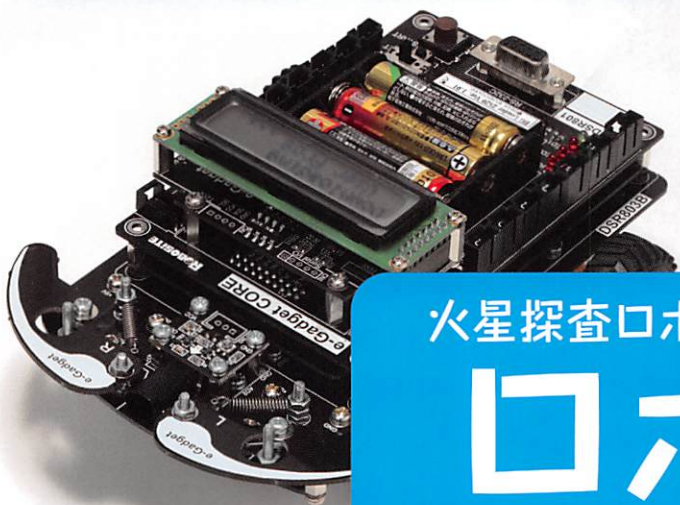




火星探査ロボットを作ってみよう!

ロボット 研究室

6月23日(日)

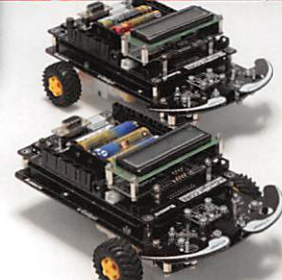
1回目 10:00~13:00 / 2回目 14:00~17:00

主催: 子どもの理科離れをなくす会

後援: 東村山市教育委員会、東大和市教育委員会、小平市教育委員会、
国分寺市教育委員会、立川市教育委員会(順不同)

協力: 学校法人明法学院 明法中学・高等学校

参加者
募集!
締切
6月14日(金)



内容: ①火星探査ロボットを作ってみよう! ②赤外線センサーを使おう!

コンピュータ内蔵のロボット教材を使って、自由な発想で本物の火星探査ロボットや月面基地建設ロボットと同じ機能を持つ宇宙探査用ロボットを作ります。試行錯誤の大切さと論理的思考のおもしろさを体験できます。プログラムやパソコンの操作については、サポーターがつきますので、全くの初心者でも大丈夫です。(注: ロボットは持ち帰れません)

●対象学年: 小学3~6年生 (保護者の方はできるだけご参観ください)

●会場: 学校法人明法学院 明法中学・高等学校 大視聴覚教室

東京都東村山市富士見町2丁目4番地12(西武鉄道拝島線「小川」駅から徒歩15分) ※ご来場の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。

●参加費: 3,000円 (教材レンタル費として) ●定員: 各回40名

※応募者多数の場合、抽選となります。予めご了承ください。(抽選の場合、結果を6月16日(日)18:00迄にメールでお知らせいたします)

●申込締切: 6月14日(金) 23:00

【申込方法】子どもの理科離れをなくす会ホームページ <http://e-kagaku.com>

トップページ「教室情報」から応募フォームにてお申込みください。

※当日、写真・ビデオの撮影を予定しています。撮影した写真・ビデオは、後日、本イベント運営団体の各種広報活動に使用する場合があります。つきましては、お申込みの際、参加者様の許諾を賜りたくご協力をお願い申し上げます。

「子どもの理科離れをなくす会」は、文系・理系どちらにも必要な力を育成するため、体験型・実験型コンテンツを用いて、社会ニーズとしての科学教育の需要に応え、科学を通じた人間教育・人材育成事業を行っている団体です。

◎講師・指導: 北原達正先生 子どもの理科離れをなくす会 代表 / NPO法人ロボカップ日本委員会 ジュニア運営委員

『文系理系の枠を超え、科学を通して10年後さまざまな分野で社会や世界が必要とする人を育成したい』そんな思いから、京都大学ほかで天文学やコンピューター関連の講師の傍ら、「子どもの理科離れをなくす会」を発足。全国各地の小中学校、高等学校などでロボットを題材に科学実験授業を実施。この科学実験授業は、文部科学省などの教育事業として採択、いくつかのSSH高校や私立中学校で正式授業として採り入れられているほか、全国の学校、行政と提携してロボット教室を開催。科学的な知識や考え方、そして経験を基に、あらゆる分野において日々新たな問題を自ら発見し、自分で解決していく力を身につけた人を育てるため活動している。

◎お問い合わせ: 「子どもの理科離れをなくす会」事務局 担当/井関

〒612-0074 京都市伏見区桃山井伊掃部西町7番地B-201 E-mail: iseki@e-kagaku.com 電話: 075-612-6814 (受付時間: 平日 10:00~17:00)